

地域整備実施計画に係る  
令和3年度実施状況および令和4年度実施予定

令和4年5月20日  
独立行政法人水資源機構  
関西・吉野川支社淀川本部  
丹生事務所

# 令和4年度の実施内容について（水機構）

## ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備（道路原形復旧及び改良）

- ・路肩補修などの原形復旧と滋賀県からの施工受託による拡幅工事を実施  
（R4年度:約 2.1km 施工中）、（R4年度:斜面对策 1箇所 施工中）
- ・橋梁整備（R4年度）  
（R3年度に完了した橋梁下部工の上部工工事を実施）

## ②-2 工事用道路として利用した市道奥川並線（路肩補修等）

- ・R3年度は19箇所の整備を実施済み。R4年度は6箇所の整備を実施。

## ⑪-3 河川へのアクセス道の整備（道路原形復旧の一環）

- ・現県道整備にあわせ、河川のアクセス道の整備

## ⑬-2 ダム事業を通して収集した地域資料の活用

- ・水機構が保有する地域資料を、地元の活用方針に沿って提供を実施。R4年度も引き続き実施していく。

## ⑭-1 残存山林の補償

- ・補償対象地の権利関係確認のため、多数存する未相続地の相続調査及び地権者との補償協議を実施中。  
引き続き、補償契約の進捗を図る。（R3/末現在:進捗率:約38%（1,200ha／3,150ha）←※3月末見込み）

## ⑭-3 買収済み用地の維持管理

- ・買収用地の対応について協議及び手続き実施。維持管理を継続（R1年度～）

## ⑭-4 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）

- ・小原地区において、土地及び施設の取扱いに関する関係機関との手続き行い、R4年度に整備を実施する。

## ⑭-6 付替県道妙理谷工区の管理

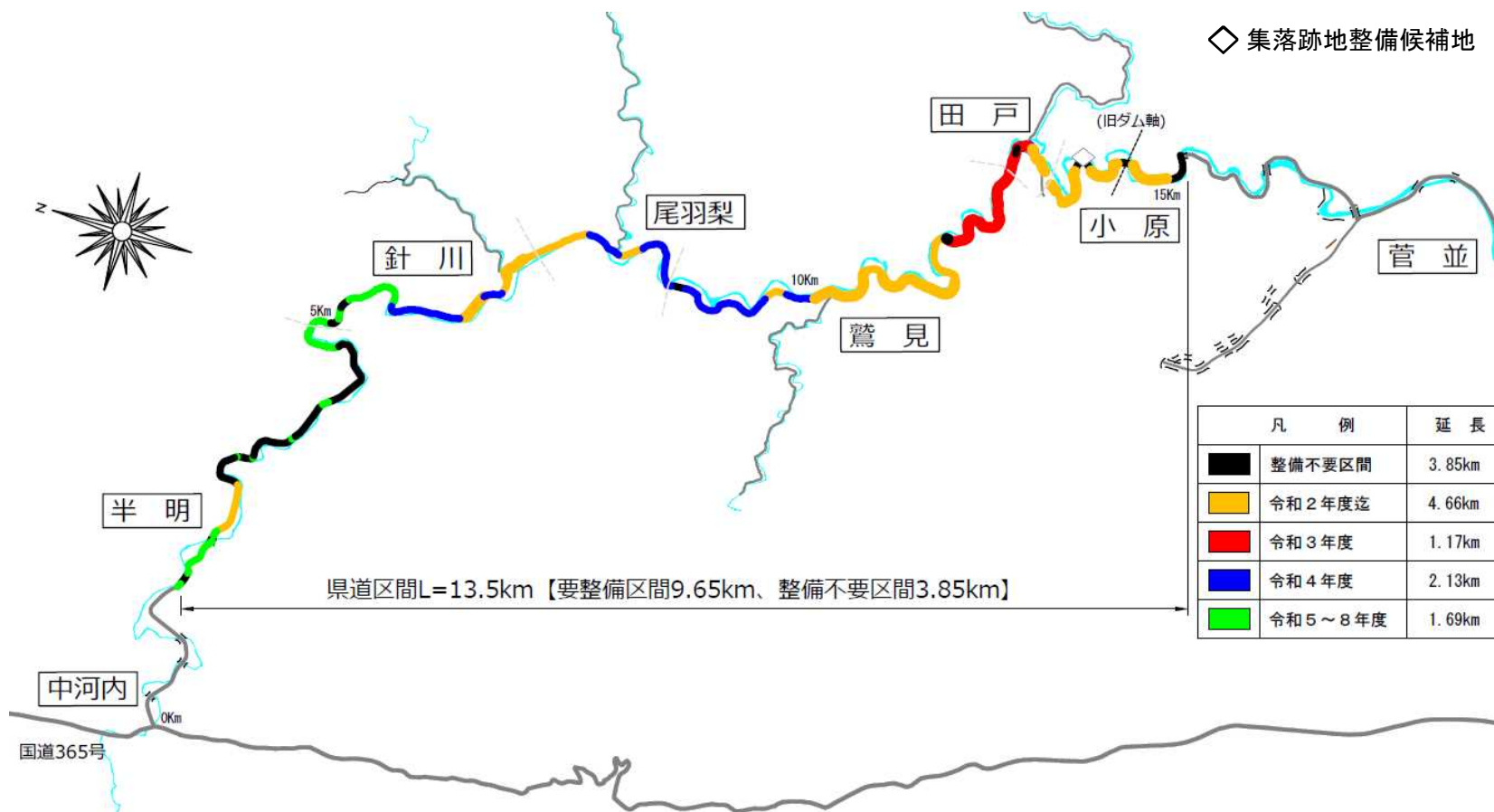
- ・R3年度に関係者にて実施内容合意済み。R4年度に安全対策等に係る設計を実施。

## ⑮-1 発生土受入地の利活用策に沿った基盤整備等

- ・八田部:R3年度はエゴマ栽培の試行の基盤整備を実施（約40m<sup>2</sup>）。R4年度は引き続き必要な基盤整備を実施予定。
- ・北海道:水機構において実施可能な基盤整備等の検討は継続。今後の利活用については検討中

- ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備
- ⑪-3 河川へのアクセス道の整備（道路原形復旧の一環）
- ⑭-4 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）

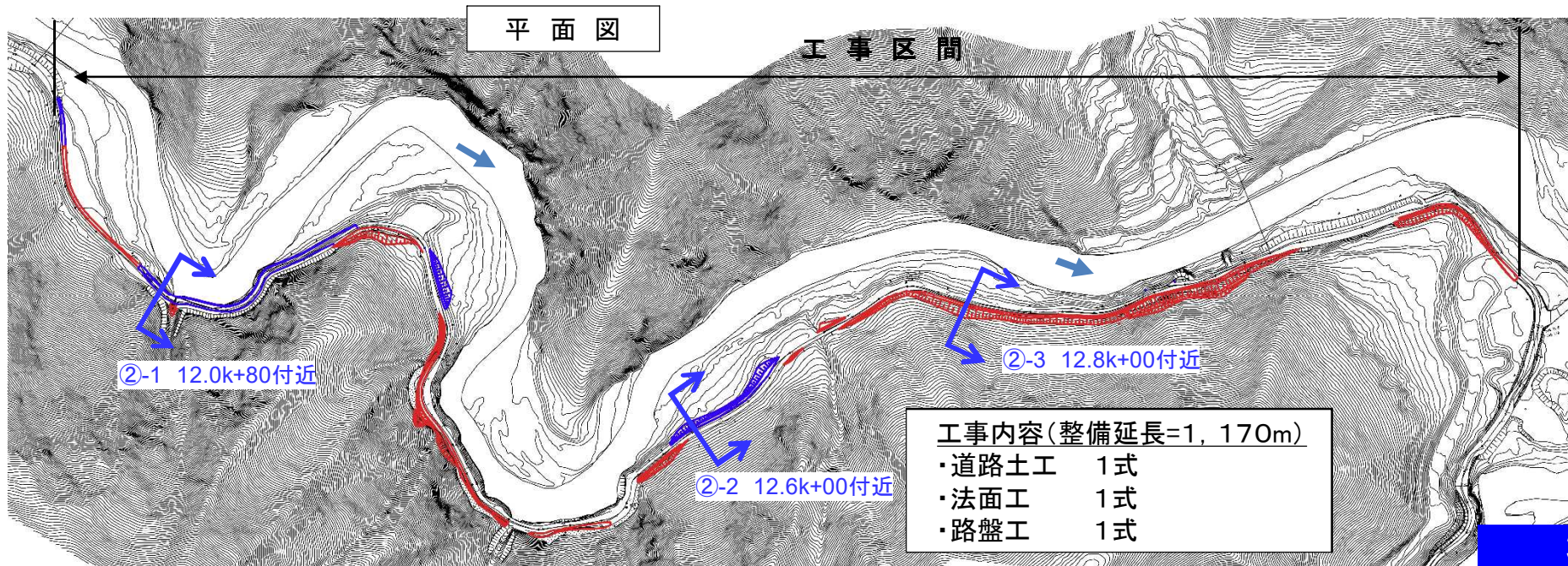
- ・滋賀県の拡幅工事（水機構が滋賀県より施工受託）と併せ道路原形復旧を実施。
- ・道路整備箇所 R3年度～ 施工延長 約2.1km（施工中）
- ・現県道整備にあわせ、河川へのアクセス道の整備を実施
- ・現県道、市道整備にあわせ、集落跡地の整備を実施（R4年度：小原地区整備予定）





# ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

R3年度完了

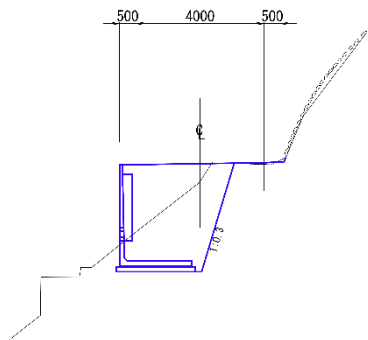




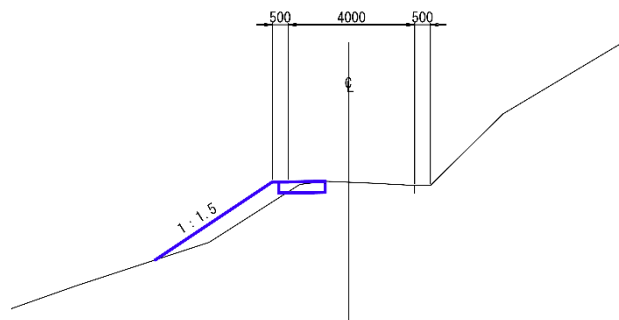
# ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

R3年度完了

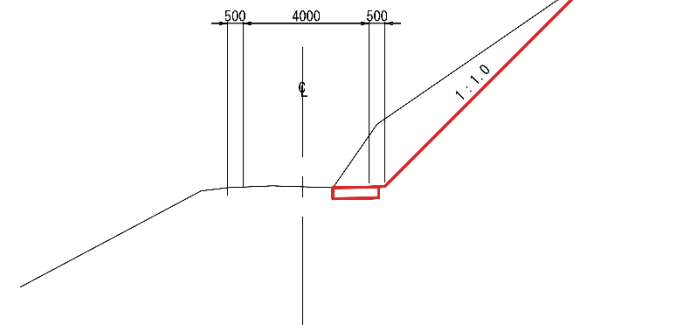
12.0k+80付近 標準断面図②-1



12.6k付近 標準断面図②-2

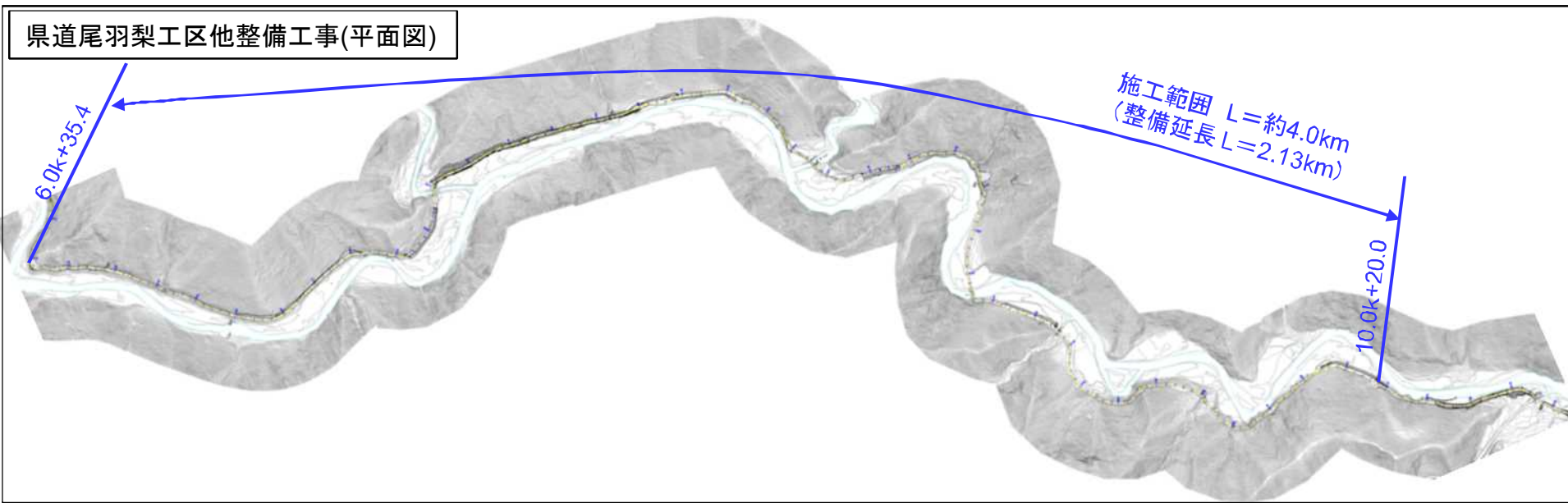
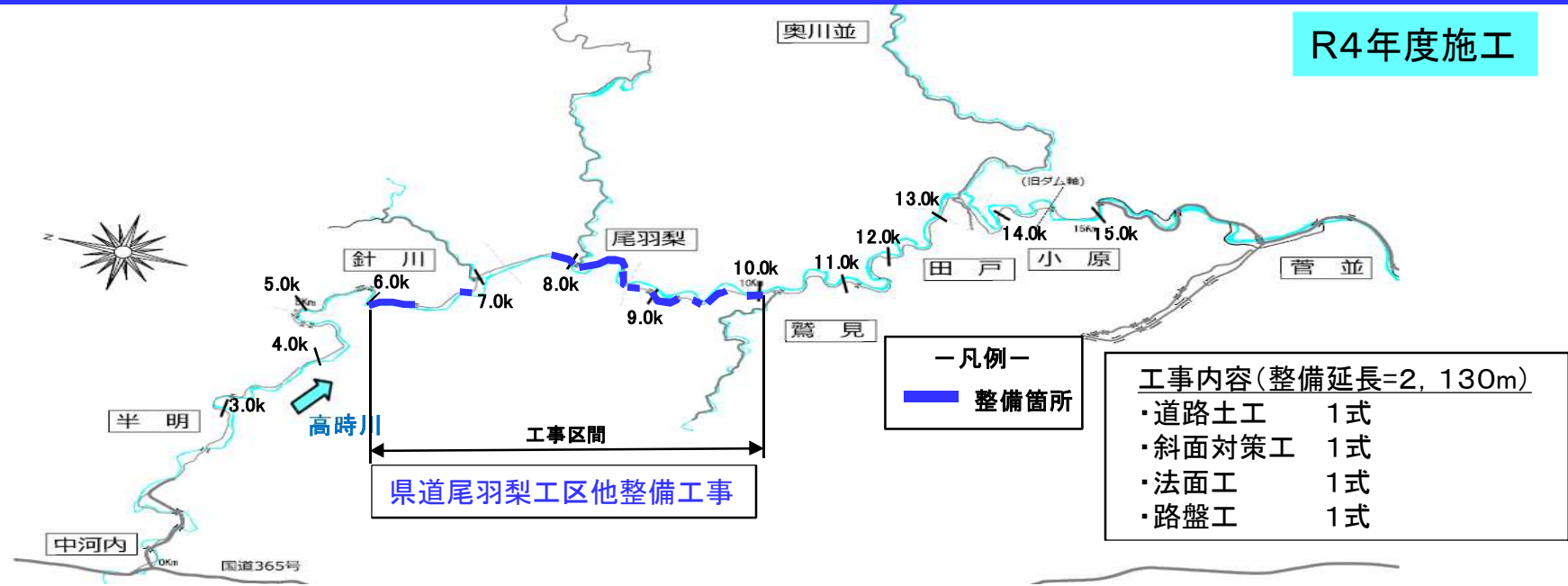


12.8K付近 標準断面図②-3



# ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

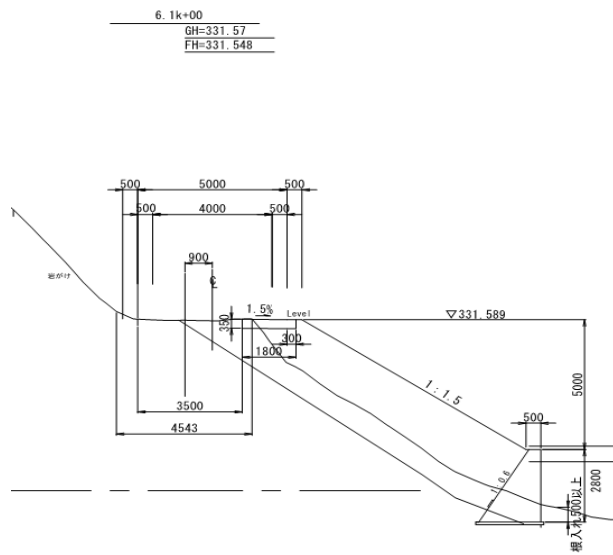
R4年度施工



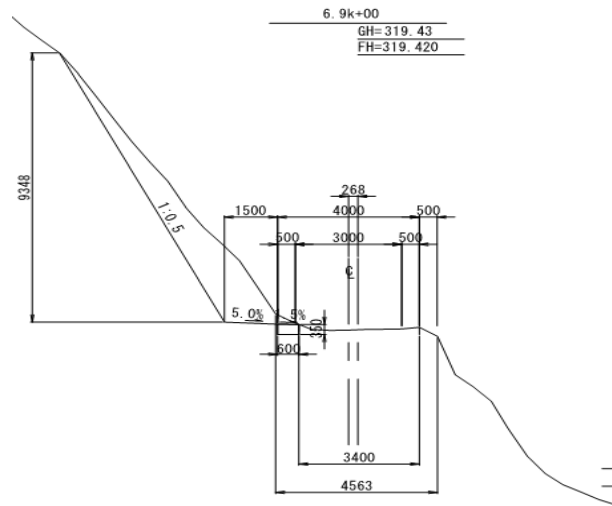
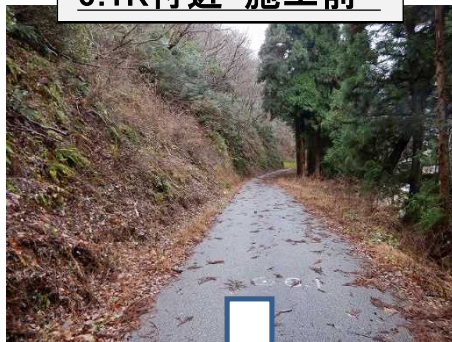


# ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

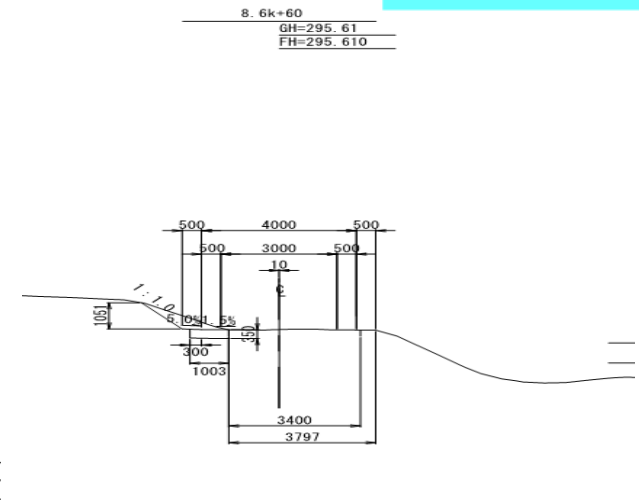
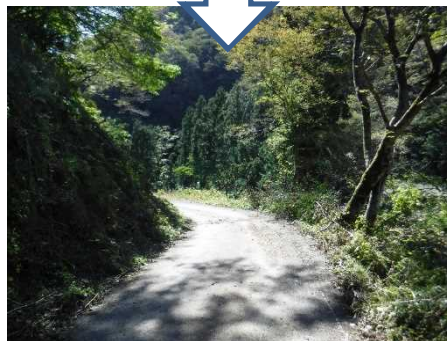
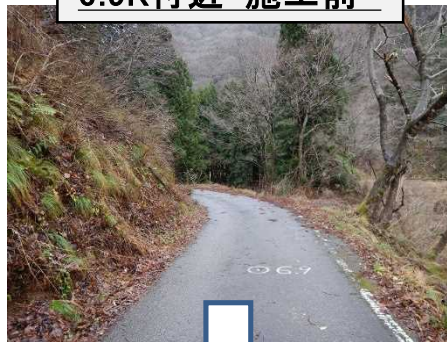
R4年度施工



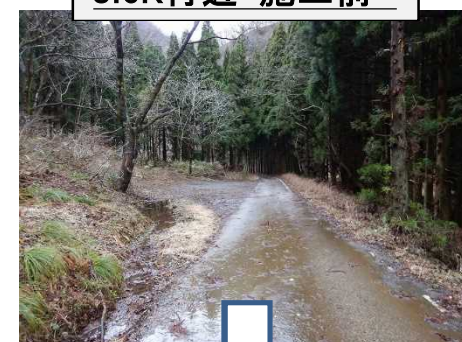
6.1K付近 施工前



6.9K付近 施工前



8.6K付近 施工前





# ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備

R4年度施工

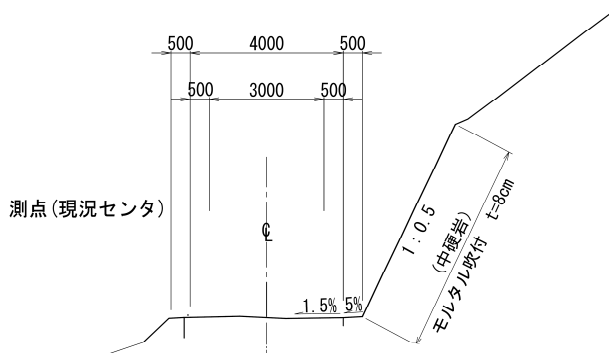


工事内容(整備面積=3,750m<sup>2</sup>)  
・法面工 1式 (モルタル吹付)

(切土部 中硬岩)

11.3k+40

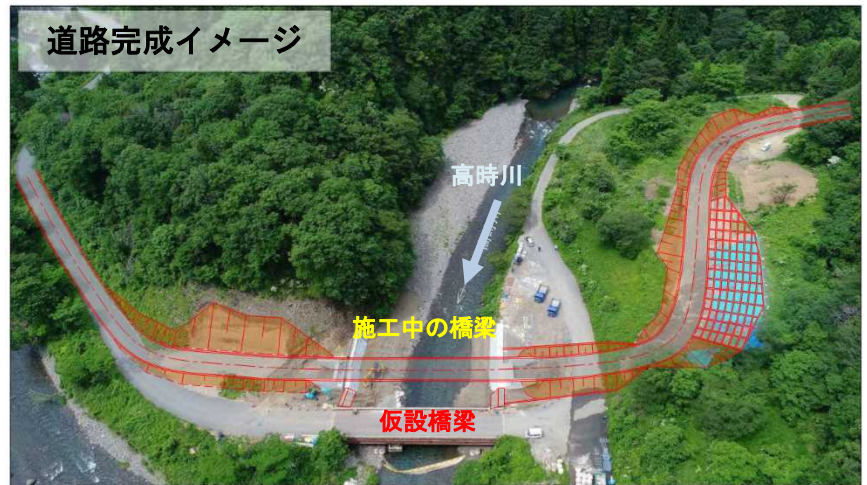
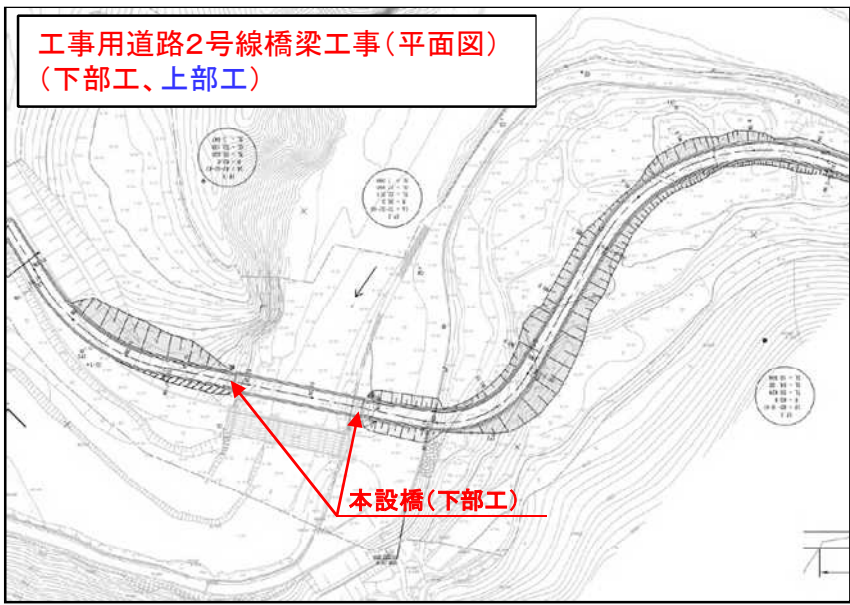
GH=271.10  
FH=271.067



# ①-1 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備 (工事用道路2号線の引き渡しのため)

R3年度下部工完了  
R4年度上部工予定

- ・工事用道路を県道として引き渡すため、仮設橋梁を本設橋に整備するなどの追加工事を実施
- ・橋梁下部工工事はR3年度に完成し、上部工はR4年度の着手を予定。



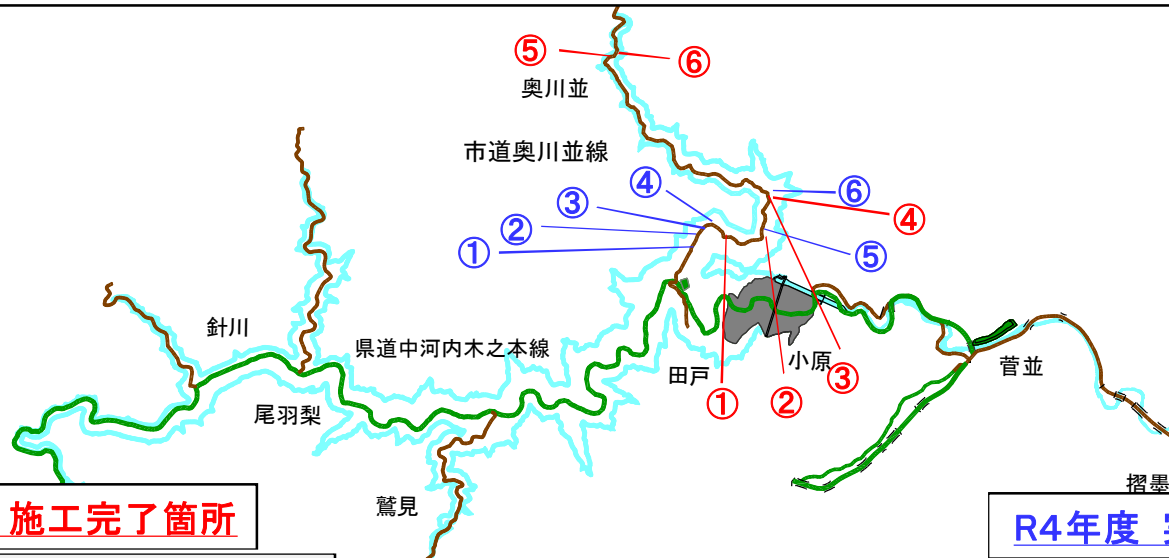


## ②-2 工事用道路として利用した市道奥川並線（路肩補修）

R3年度完了  
R4年度実施予定

R3年度は待避所整備(3箇所)、路肩補修(2箇所)、護岸補修(1箇所)、湧水処理等(13箇所)の計19箇所を実施。

R4年度は沢水処理(4箇所)、路肩補修(2箇所)を実施予定。



- 凡例—
- R3年度実施
    - (①、②、④) 待避所整備
    - (③、⑥) 路肩補修
    - (⑤) 護岸補修
    - その他湧水処理等13箇所
  - R4年度実施予定
    - (①、②、③、④) 沢水処理
    - (⑤、⑥) 路肩補修
- 凡例—
- 県道・工事用道路
  - 市道・林道
  - 湛水線

### R3年度 施工完了箇所

路肩補修④ 奥川並1.4k付近 完成



護岸補修⑥ 奥川並3.55K 完成



路肩補修⑤ 奥川並3.7k付近 完成



湧水処理等 13箇所 完成



### R4年度 実施予定

沢水処理①



路肩補修⑥



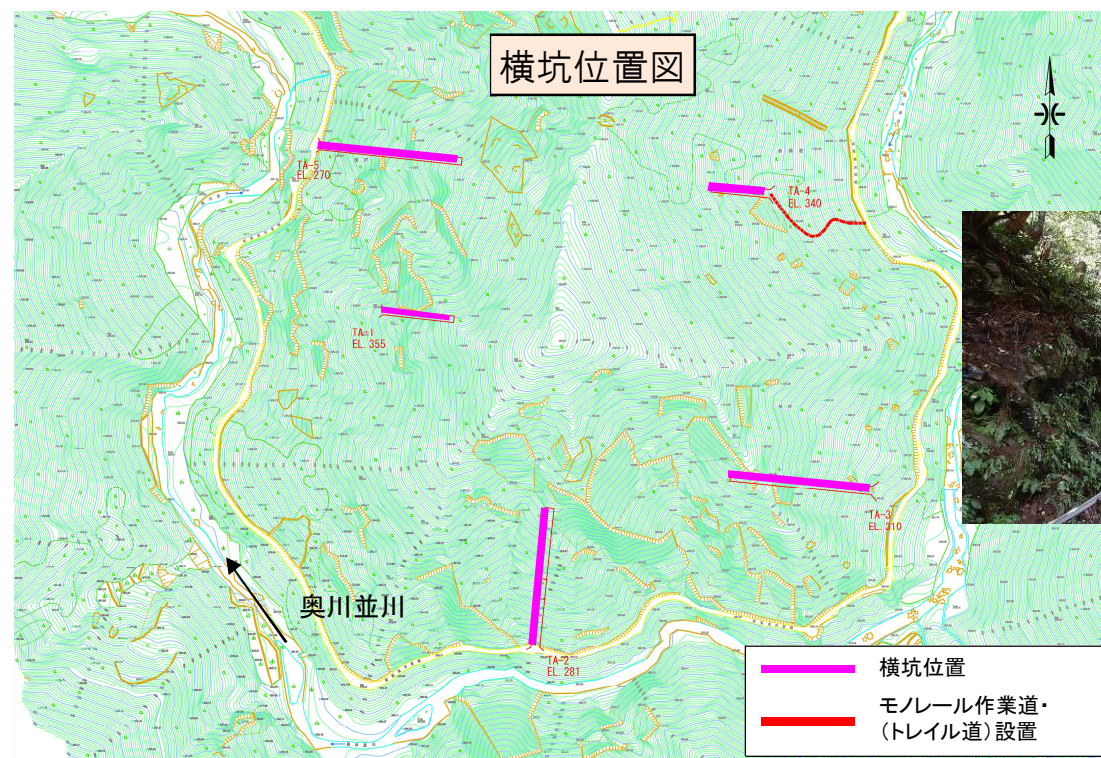


# ⑪-2 トレイル道の整備(調査施設撤去時の作業道)

R3年度完了

R3年度に原石山地質調査横坑の閉塞工事の作業道を兼ねたトレイル道の整備を実施。

原石山横坑



トレイル道





## 13-2 ダム事業を通して収集した地域資料の活用

丹生ダムの建設事業を通じて収集した地域の地誌・歴史・環境等に関する膨大な資料、旧中河内小学校に関する記録も含めた資料の整理及び活用方法の検討を実施。

### 【地域資料の概要】

- 1) 地誌: 丹生地域の自然・社会・文化などの特性に関する資料
  - ・民俗・風土文化に関する風土誌
  - ・昭和55年12月豪雪に関する記録
  - ・消えゆく里の記録
- 2) 環境調査等資料: 建設所で実施した地質、動植物等の調査資料
  - ① 丹生ダム関連環境調査資料
    - ・環境基盤調査(地形、地質、植生、河川形態)
    - ・動植物(確認種の状況: 植物、ほ乳類、鳥類、両生類、ほか)
  - ② 高時川の川模様(年間の四季折々の写真)、瀬切れ実態等
- 3) 歴史: 余呉・丹生地域の歴史のあゆみなどに関する資料
  - ・余呉町誌 通史編 上巻・下巻
  - ・旧中河内小学校に関する記録
- 4) その他
  - ① 自然環境調査報告書
  - ② 水文・気象データ など

### 【R3年度までの実施状況】

機構が保有する地域資料を整理した一覧を提示し、「丹生茶わん祭りの館」に設置予定の展示コーナーに使用する映像データ等について譲渡を実施。また、文献等について地元の活用方策に沿った資料の提供を実施。

### 【R4年度実施予定】

引き続き地元の活用方策に沿った資料の提供を実施。



広報誌等



地誌



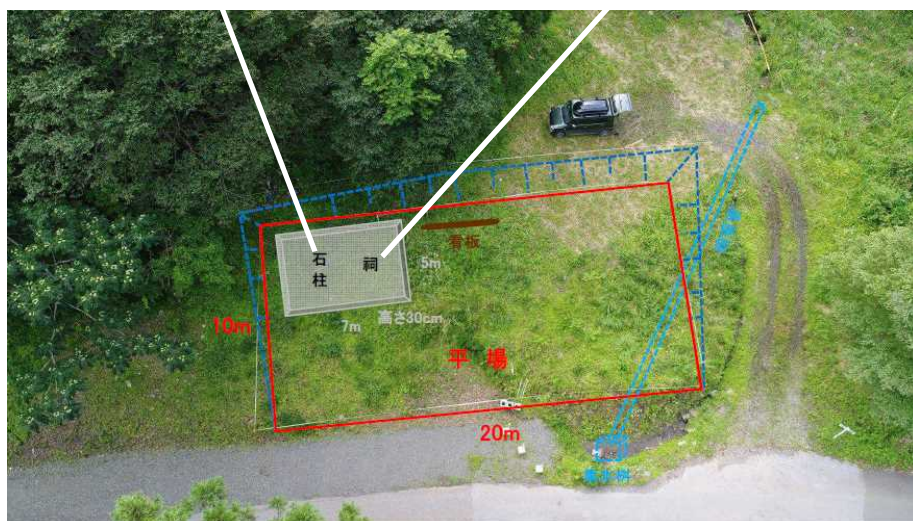
記録映像 (一部)



映像投影状況 (茶わん祭りの館)

## ⑭-4 集落跡地の整備（道路原形復旧の一環）

R3年度は、施設整備にあたり将来の土地・施設管理について滋賀県・長浜市と調整を行った。  
R4年度は、小原地区において、土地及び施設の取り扱いに関する関係機関との手続きを行い、整備を実施する。



集落跡地イメージ図

撮影日：R2.11.11

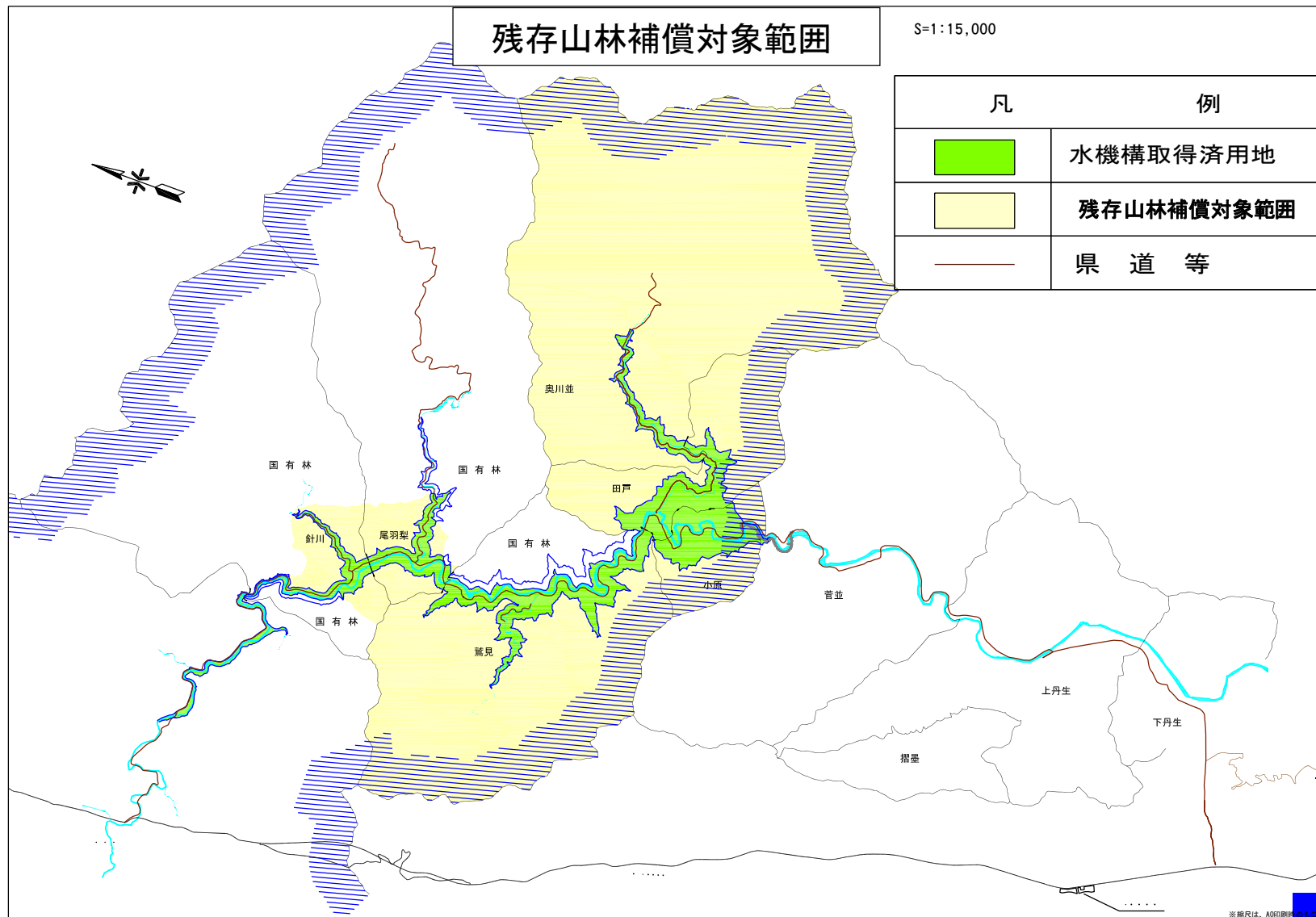


小原地区施工状況



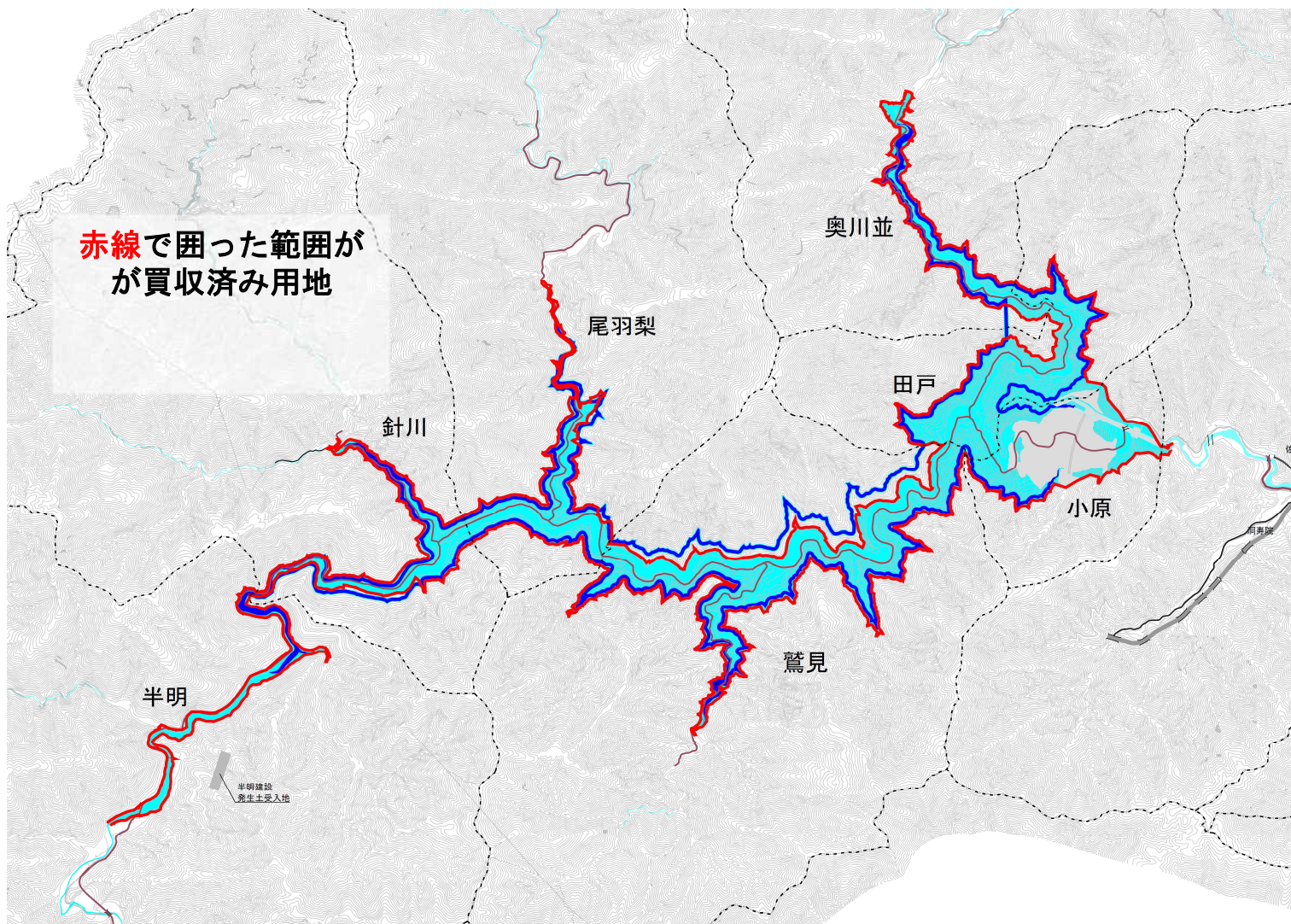
# ⑭-1 残存山林の補償

・残存山林についてR2年度より補償手続きを開始。R4年度も引き続き補償契約の進捗をはかる。  
 (補償対象面積:約3,150ha R3年度末契約済面積:約1,200ha 進捗率:約38%)



### ⑭－3 買収済み用地の維持管理

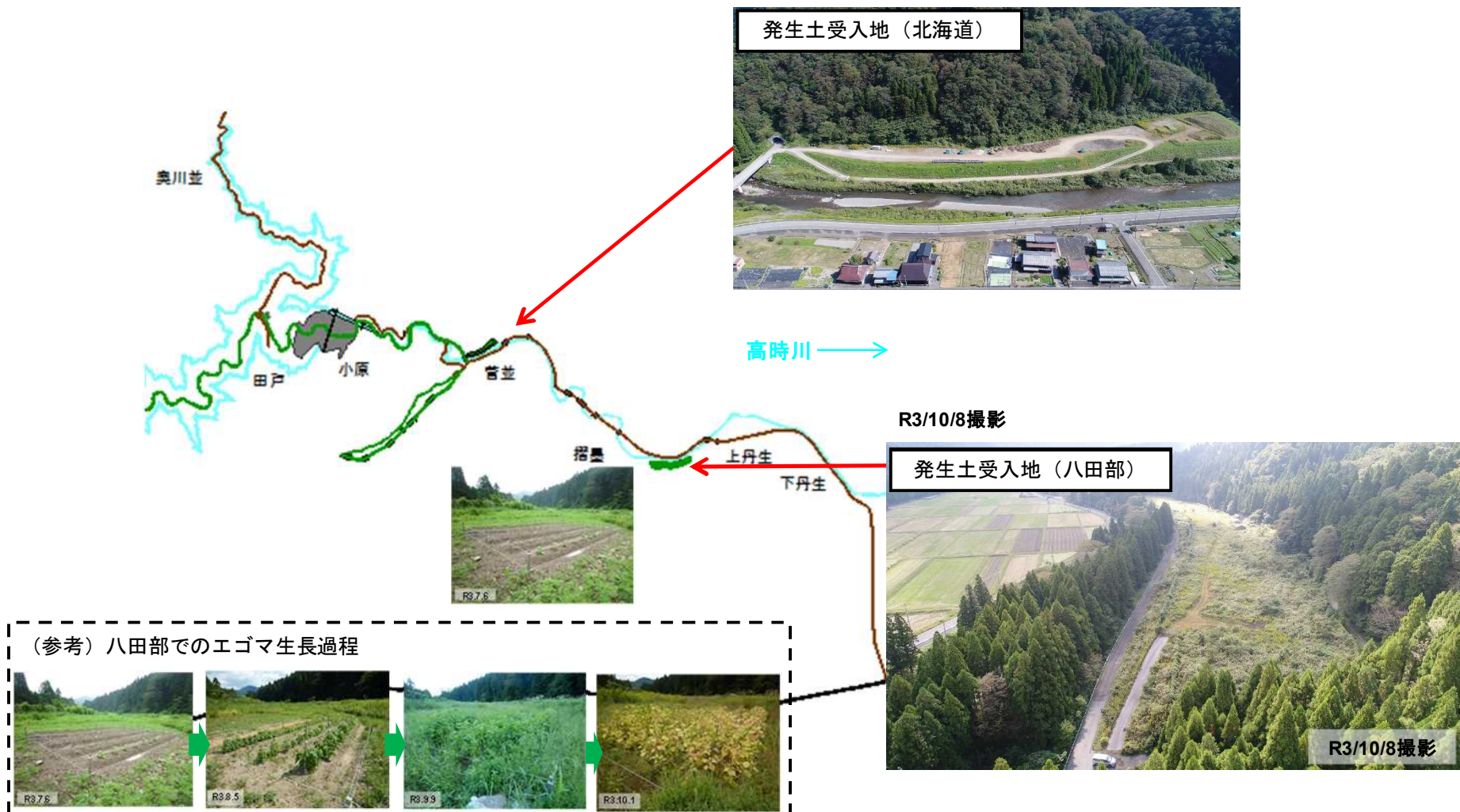
- ・買収用地について滋賀県への引継ぎに向け、R4年度も滋賀県及び関係機関と協議調整及び手続きを行い、その間の維持管理を継続する。





# ⑮-1 発生土受入地の利活用策に沿った基盤整備等

- 発生土受入地(北海道、八田部)について、R3年度は地元が望む利活用案の策定に向け、基盤整備等を実施。R4年度も必要な基盤整備等を実施予定。





## ⑭-6 付替県道妙理谷工区の管理

・付替県道について滋賀県への引き渡しに向け、R4年度に安全対策等に係る設計を実施する。

